

城西人文研究 既刊総目次

創刊号 (1973年)

- 序……………武 市 春 男
『城西人文研究』の創刊に際して……………蒔 田 栄 一
ニーチェとキリスト教倫理……………木 阪 昌 知
マヤの石造建築における「持送りアーチ」について……………貞 末 堯 司
意味と認識
——パース研究(4)——……………西 勝 忠 男
シーハラヴァットパカラナ訳註(Ⅱ)
——第1章 第3・4・5話——……………森 祖 道
独白と対話
——ジョイスとペローの距離——……………茂 呂 公 一
ポーにおけるグロテスクとアラベスク……………水 田 宗 子
内村鑑三おぼえ書き(その八)……………岩 谷 元 輝
人間の社会的構造と疎外……………松 浦 孝 作
『靈魂の系図』について
——Carlyle を中心として——……………松 田 福 松
カフカの世界
——非ユダヤ的ユダヤ人——……………山 口 勲

第2号——蒔田栄一教授追悼論文集——(1974年)

- 巻 頭 言……………武 市 春 男
バスク語の単文における語順の文体的価値について……………堀 田 郷 弘
内村鑑三おぼえ書(その九)……………岩 谷 元 輝
精神病理学的立場からみたニーチェ思想の粹構造(1)……………木 阪 昌 知
『サムラー氏の惑星』試論……………森 哲 夫
「キリスト者貴族に与う」にみられるルターの思想考……………太 田 広
宗教史にみる日本的均衡のメカニズム(Ⅳ)
——マーケティングと宗教の関連において——……………渡 辺 好 章
遠近法と身体性について……………山 口 勲
同一性(アイデンティティ)に関する諸問題——その一……………帆 足 喜与子
涼袋稿『風雅艶談』浮舟部——翻刻——……………黄 色 瑞 華

「紙」以前の書写の用材について	井	口	大	介
故蒔田栄一教授 追悼	松	田	福	松
ああ蒔田栄一先生よ	伊	部	政	一

第3号——城西大学開学十周年記念論文集——（1975年）

アンデス古代文明の諸問題	貞	末	堯	司
発見の哲学——パース研究（6）——	西	勝	忠	男
首都圏の都市成長前線帯におけるサービス業地域の形成 ——埼玉県坂戸町「きどうち」と「駅東通り」の比較——	田	村	正	夫
鉄齋と華山	小	野		浩
日本民主主義研究序論	森	田	昌	幸
遠近法と身体性——その哲学的意味——	山	口		勲
Feminine Failure and the Modern Hero: Mad Women in Sylvia Plath's <i>The Bell Jar</i> and Joan Didion's <i>Play It As It Lays</i>				
『おらが春』の素材	黄	色	瑞	華
日本におけるアンドレ・マルロー受容 ——1941年（昭16）まで——	堀	田	郷	弘
ジェイムズ・ジョイス研究——造形への意識——	茂	呂	公	一
作品とその批評 —— <i>Robert Elsmere</i> と “Robert Elsmere”——	萩	原	博	子
司馬遷論	黒	羽	英	男
三代日本主義の系譜について	松	田	福	松

第4号（1977年）

論理の自律性について——パース研究（7）——	西	勝	忠	男
カントの「定言命法」	山	口		勲
中央アメリカの考古学史 ——先コロンブス期文化の研究を中心とした——	貞	末	堯	司
クレアラ・アン・ペイター覚え書	萩	原	博	子
『教育者としてのショーペンハウアー』から ——ニーチェと自然——	河	内	信	弘
アンドレ・マルローと日本行動主義文学運動	堀	田	郷	弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅱ）——生命の美学——	陶	山		曠

冷たき牧歌

- キーツの『ギリシャの壺の賦』によせて— ……永 井 豊 実
『おらが春』の素材 (続) ……黄 色 瑞 華
歌人「安江不空」 ……小 野 浩

第5号 (1978年)

- 南アメリカの考古学史 ……貞 末 堯 司
Manorathapūrāni 源泉資料年代論 ……森 祖 道
大学英語教育の問題点 (上) ……鮫 島 久 男
クレアラ・アン・ペイター覚え書 (Ⅱ) ……萩 原 博 子
『シンベリン』, 皮肉な遊戯 ……戸 所 宏 之
カフカ研究の視座を求めて ……山 口 勲
東京日仏会館開館式におけるマルロー氏の演説 (1960年2月22日) と
東京羽田空港におけるインタヴュー (2月29日) ……堀 田 郷 弘
アンドレ・ジッドの方法 (Ⅲ) ……陶 山 嘯
ニーチェと自然 (一) ……河 内 信 弘
『おらが春』第一話の設定をめぐる ……黄 色 瑞 華

第6号 (1979年)

- ヴィトゲンシュタインの思想を理解するために ……山 口 勲
パーソナリティテストとしての SCT に関する一考察
—特に応用とその解釈をめぐる— ……駒 崎 勉
ジェイムズ・ジョイスの手法について (1)
—我国におけるジョイス評価の推移— ……茂 呂 公 一
A Textual History of Walter Pater's
Renaissance ……Hiroko Hagiwara
マクベスの意識構造—「運命」「眠り」「時」— ……小 野 昌
ニーチェと自然 (二)—『悲劇の誕生』— ……河 内 信 弘
全集本『おらが春』について ……黄 色 瑞 華

第7号 (1980年)

- ヤスパースとフッサール
—精神病理学の哲学的基礎— ……山 口 勲
PANTUN—puisi dan puisi rupa— ……黄 色 瑞 華
国際水利法に関する一考察 ……土 屋 生

- ジェイムズ・ジョイスの手法について (II)
 ——我国におけるジョイス評価の推移——……………茂 呂 公 一
- The Development of the Audiolingual Approach
 ——Trends in Language Methodology in the United States——
 ……………Fumiko Tamura
- 『空騒ぎ』の冥と光——像りの力学——……………戸 所 宏 之
- 「エンディミオン」における映像のあり方……………永 井 豊 実
- 『ヴェニス商人』における Venture について……………小 野 昌
- カミュとニーチェ——『異邦人』と〈神の死〉——……………村 岡 正 明
- アンドレ・ジッドの方法 (IV)——生命の美学——……………陶 山 瞳
- 「騎士と死神と悪魔」
 ——『悲劇の誕生』におけるデューラーの銅版画をめぐる——
 ……………河 内 信 弘

第 8 号 (1981年)

- ウィトゲンシュタインのケムブリッジ……………山 口 勲
- アメリカ文化論 (I)……………小松 光・金勝 久・茂呂公一・黒沢順三
- シャルル・モーロンの「精神批評」(1)……………越坂部 則 道
- 「高き山々の頂きから」
 ——『善悪の彼岸』に添えられた詩に関する一つの試み——……………河 内 信 弘
- 思想家としてのニーチェ……………小 野 浩
- 『四山藁』の俳論……………黄 色 瑞 華

第 9 号 (1982年)

- アメリカ文化論(II)……………金 勝 久
- ジョイスのパドバ・エッセイについて……………茂 呂 公 一
- アンドレ・マルローの最初の美術論
 《La Peinture de Galanis》(1922) について
 ——マルローの初期の美術論の研究(前)——
 ……………堀 田 郷 弘
- シャルル・モーロンの「精神批評」(2)……………越坂部 則 道
- 教育場面における夢の活用(I)
 ——その背景としてのフロイトとユング——
 ……………細 部 国 明
- 身・語・意の三業 (tīṇi kammāni) と carita, saṅkhāra, samācāra
 ……………池 田 練 太郎

詩的コスモゴニーへの論理
——ランボー詩の内的世界——

-川那部 保 明
ハイデガー先生の想ひ出.....小 野 浩
〔研究ノート〕
俳諧連歌における謡曲の文句取り(一).....黄 色 瑞 華

第10号(1983年)

- ウィトゲンシュタイン：太洋の測量技師
——逆限定のパトス——山 口 勲
アメリカ文化論(Ⅲ).....金 勝 久
ジョイスのディケンズ・エッセイについて.....茂 呂 公 一
教育場面における夢の活用(Ⅱ)
——夢と宗教——細 部 国 明

Zur Entwicklung der deutschen Sprache in der DDR
.....Kuniomi Uchimura

『失われた時を求めて』における作中人物の出現と

- 話者のまなざし北川原 哲 夫
カミュと〈他者〉村 岡 正 明
〔書 評〕

(Ⅰ) LE DASAVATTHUPPAKARANA

Édité et traduit par Jacqueline VER EECKE

(Ⅱ) LE SĪHALAVATTHUPPAKARANA

Texte pāli et traduction par Jacqueline VER EECKE

-森 祖 道
〔研究ノート〕
渭浜庵執筆一茶.....黄 色 瑞 華

第11号(1984年)

- 〈人間=記号〉論について西 勝 忠 男
教育場面における夢の活用(Ⅲ)
——ユングの宗教夢解釈に対するフロムの批判——細 部 国 明
Frühneuhochdeutsch und Buchdruckerkunst - III.
Die Herausbildung der(verbale)n Satzklammer.....藤 井 明 彦

Didaktische Probleme des Geschichtsunterrichts in den
sozialistischen Ländern am Beispiel der UdSSR.....Stefan Wundt

知と自我

——初期シェリング哲学の原理について——小林 保 則
歌人 安江不空.....小 野 浩
『我春集』の序文をめぐる黄 色 瑞 華

第12号 (1985年)

ロンゴバルディ侵住建国をめぐる諸問題

——イタリア民族形成史の一コマ——森 田 鉄 郎

教育場面における夢の活用 (IV)

——ユングの宗教夢解釈に対するボスの批判——細 部 国 明

ベン・ジョンソンの男性的雄弁の美学

——*Timber* の詩論を通じてジョンソンの詩を読む——平 松 哲 司

Die Kommunistische Erziehung und ihre

WertvorstellungenStefan Wundt

シャルル・モーロンの「精神批評」(3).....越坂部 則 道

『我春集』から『株番』へ黄 色 瑞 華

「研究ノート」

農村集落における精神的ムラ境の諸相

——茨城県桜村における虫送りと道切りを事例として——小 口 千 明

ヴァイマル憲法制定国民議会における裁判官の審査権

——「ヴァイマル憲法下の裁判官の審査権」研究序説——畑 尻 剛

グスターフ・フライタークの〈Soll und Haben〉.....鈴 木 敏 夫

第13号 (1986年)

巻 頭 言.....石 南 國

“鏡”の論理から“魂”の論理へ

——人間記号論序説——西 勝 忠 男

北欧中世 (スウェーデン) における自力救済慣行

——実力社会の一考察——伏 島 正 義

潮湯の偏在性に関する地理学的予察

——日本における海水浴普及との関連から——小 口 千 明

ジョイスの“Exiles”における受難の思想について.....茂 呂 公 一

- Eloisa と Belinda の相違石 川 郁 二
- 状態動詞・完了形・進行形・状態受動態に
見られる共通特性.....鎌 田 精三郎
- R. Huch の〈スイスの春〉覚え書
——研究ノート——.....鈴 木 敏 夫
- J. ヴァイスヴァイラーの Seele の語源説をめぐって藤 井 明 彦
- ヴァージニア・ウルフ『燈台へ』における視点と
人物描写について.....飯 塚 英 一
- エアリエルの材源再考.....門 野 泉
- パトナム, シドニーの *sprezzatura* 精神
——宮廷世界の美学と「ルネサンス・
ヒューマニズム」の対峙——平 松 哲 司
- The Dimensions of the U. S.—Japanese
Cultural Conflicts Underlying the Trade Issue
.....古 川 友 章
- 神話概念の変遷Ⅱ
——翻訳語としての『神話』をめぐって (上)——.....天 沼 春 樹
- 自己言及のかたち
——『イリュミナシオン』「生活Ⅲ」と「生活Ⅰ」を読む新 宅 巖
- フローベールにおける登場人物と場面.....大久保 政 憲
- 『息 子』アルトゥール・シュニッツラー
——翻 訳——.....春 日 正 男
- 『バシュラールと過したひと夏』とその研究 (Ⅰ).....越坂部 則 道
- アンドレ・ジッドの方法 (Ⅵ)陶 山 曠
- アンドレ・マルロー「ルオーの新作についての覚書——
絵画における悲劇的表現をめぐって」の翻訳と解題.....堀 田 郷 弘
- 「シルス・マリーア」をめぐって河 内 信 弘
- 日中戦争開戦当初における対植民地・「満州」米政策大豆生田 稔
- 歌人 安江不空・序(3)
——大和歌の問題——.....小 野 浩
- 『志多良の序』文をめぐって黄 色 瑞 華
- 高橋克巳論——虚無僧のパトス——山 口 勲

第 14 号 (1987年)

Mahāsivatthera as Seen in the Pāli Aṭṭhakathās.....Sodō Mori

キーツの『秋に寄せて』(二)

—第2連の情景— ……………永井豊実

坪内逍遙とシェイクスピア

—帝劇『ハムレット』をめぐって— ……………小野昌

TENSE and TIME in English……………Seizaburo Kamata

コシンスキーの『自己芸術』: *Steps* をめぐって……………繁田眞弓

Kaji Motojiros “Fliegen im Winter” ……………Stefan Wundt

E. T. A. ホフマン『さびれた家』

—作話技術を中心に—……………齊藤洋

バルザックの小説の提示部について……………佐野栄一

[研究ノート]

ニーチェにおける詩人

—ニーチェの詩の理解のために— ……………河内信弘

[研究ノート]

井泉水編『一茶俳句集』入集の句(一)……………黄色瑞華

イエイツの「一エーカーの草地」について

—〈悟り〉か〈狂気〉か—……………小堀隆司

アポリネールの恋の詩と真実……………堀田郷弘

第15巻 第1号 (1987年)

推論の妥当性から〈魂〉の論理性へ……………西勝忠男

“Elegy to the Memory of an Unfortunate

Lady” と “Eloisa to Abelard”……………石川郁二

Faerie Queene, Book Iにおける「光」と「闇」……………古川啓二

[研究ノート]

井泉水編『一茶俳句集』入集の句(二)……………黄色瑞松

「のひゞき波をしらぶ」考……………安保博史

イエイツ「マイケル・ロバーツの二重の幻想」について

—幻滅の狡智—……………小堀隆司